

改憲構想とアベノミクスを読み解く

通常国会が始まりましたが、安倍政権はモリカケ、スパコン疑惑を封じ込め、憲法審査会を舞台に改憲へまっしぐらに進もうとしています。

同時に官製相場で株価を支えアベノミクスの破綻を覆い隠そうとしてきましたが、アメリカ発の世界同時株安で様相が変わりつつあります。

今回のつどいはこうした動きの現局面の本質を知り、今後の九条改憲をくい止める運動の展望を探る講演会です。どうぞご参加ください。



小森陽一さん



金子勝さん

講演(1) 「改憲案の本質と九条を守る運動」

小森 陽一さん (東京大学大学院教授)

講演(2) 「アベノミクスの5年とこれから」

金子 勝さん (慶応義塾大学教授)

2018年3月24日(土)14:00~17:00(13:30 開場)

会場 文京シビックセンター4階シルバーホール

東京メトロ後樂園駅、丸ノ内線(4a・5番口)、
南北線(5番出口)徒歩2分/都営地下鉄春日
日駅三田線・大江戸線徒歩2分/JR 総武線
水道橋駅東口徒歩9分

参加費(資料代) 500円

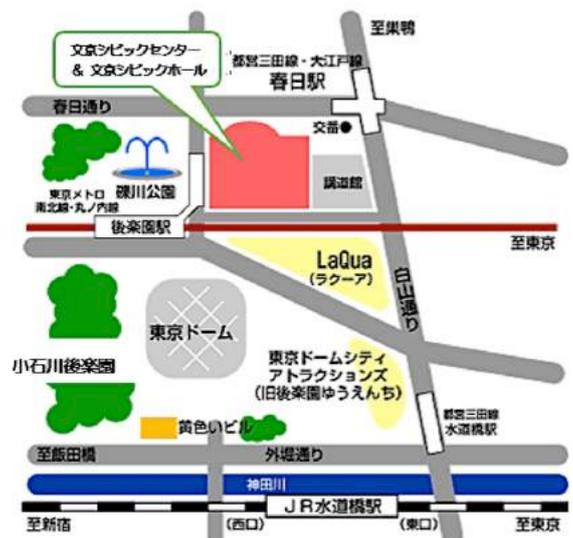
主催:九条科学者の会

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15

電話/FAX: 03-3811-8320

HP <http://www.9-jo-kagaku.jp>

E-mail m-office@9-jo-kagaku.jp



講師紹介

小森 陽一 (こもり よういち)

日本文学者、東京大学大学院教授。専攻は、近代日本文学、構造主義記号論。九条の会事務局長、九条科学者の会共同代表。

1953年、東京都生まれ。北海道大学文学部卒業。同大学院修了。1985年、成城大学文芸学部助教授、1992年、東京大学教養学部助教授、1998年、同大学院総合文化研究科(言語情報科学)教授。

著書に、『夏目漱石をよむ』(岩波ブックレット)、『最新宮沢賢治抗議』(朝日選書)、『漱石論 21世紀を生き延びるために』(岩波書店)、『橋下「維新の会」の手口を読み解く』(新日本出版社)、『死者の声、生者の言葉 文学で問う原発の日本』(新日本出版社)、『あの出来事を覚えておこう 2008年からの憲法クロニクル』(新日本出版社)、『子規と漱石 友情が育んだ写実の近代』(集英社新書)などがある。



金子 勝 (かねこ まさる)

経済学者、慶応義塾大学経済学部教授。専門は、制度経済学、財政学、地方財政論、

1952年、東京都生まれ。1975年、東京大学経済学部卒業、同学大学院経済学研究科単位修得満期修了。1980年、東京大学社会科学研究所助手。茨城大学人文学部講師、法政大学経済学部助教授、教授を経て、2000年から現職。

著書に、『市場と制度の政治経済学』(東京大学出版会)、『セーフティーネットの経済学』(ちくま新書)、『経済の倫理 反経済学からの問い』(新書館)、『粉飾国家』(講談社現代新書)、『2050年のわたしから 本当にリアルな日本の未来』(講談社)、『戦後の終わり』(筑摩書房)、『金子勝の仕事道 人生を獲得する職業人』(岩波書店)、『新・反グローバリズム 金融資本主義を超えて』(岩波現代文庫)、『原発は火力より高い』(岩波ブックレット)、『資本主義の克服「共有論」で社会を変える』(集英社新書)などがある。

